

～ 2025 年、東京に 2 つの国際スポーツ大会がやってくる～

TOKYO FORWARD 2025

世界陸上競技選手権大会

1983 年に国際陸上競技連盟（現在の WA: ワールドアスレティックス）によって創設され、第 1 回大会はフィンランドのヘルシンキで開催されました。

2 年に一度開催され、2025 年大会は 20 回目。

東京での開催は 1991 年大会以来であり、大阪 2007 大会を含めて通算 3 回目の日本開催。

WA に加盟する約 210 か国・地域から約 2,000 人の選手が出場する、陸上競技におけるオリンピックと並ぶ世界最高峰の大会です。

東京 2025 世界陸上競技選手権大会（東京 2025 世界陸上）

日 程 2025 年 9 月 13 日～ 21 日（9 日間）

会 場 国立競技場 ほか

種目数 全 49 種目（男子 24 種目・女子 24 種目・男女混合 1 種目）

100m・200m・400m・800m・1500m・5000m・

10000m・マラソン・3000m 障害物・女子 100m ハードル・

男子 110m ハードル・400m ハードル・女子七種競技・

男子十種競技・走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・

円盤投・ハンマー投・やり投・20km 競歩・

35km 競歩・4x100m リレー・4x400m リレー・混合 4x400m リレー

夏季デフリンピック競技大会

デフリンピックは、国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）が主催するデフアスリートを対象とした国際総合スポーツ競技大会。

競技ルールはオリンピックとほぼ同じで、競技場に入った時点から、補聴器等の使用は禁止されることや、競技運営に国際手話のほか、スタートランプや旗などを利用した視覚による情報保障を行います。

※デフ（Deaf）は英語で「耳が聞こえない」という意味

第 1 回大会は 1924 年にフランスのパリで開催。4 年に一度、夏季大会と冬季大会がそれぞれ開かれ、2025 年大会は 100 周年の記念すべき大会です。

日本では初開催となり、70～80 か国・地域から約 3,000 人の選手が出場します。

第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025（東京 2025 デフリンピック）

日 程 2025 年 11 月 15 日～ 26 日（12 日間）

会 場 駒沢オリンピック公園総合運動場 ほか

競技数 全 21 競技

陸上・サッカー・卓球・バレーボール・バスケットボール・ハンドボール・

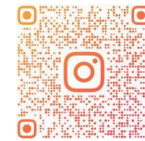
バドミントン・レスリング（フリースタイル）・レスリング（グレコローマン）・

空手・柔道・テコンドー・水泳・テニス・ビーチバレー・自転車（ロード）・

自転車（MTB）・ボウリング・ゴルフ・オリエンテーリング・射撃



特設ウェブサイト



公式Instagram

TOKYO FORWARD 2025



東京都